

平成28年度

「環境への取り組みについて」

農業委員会事務局長 亀山 隆弘

部の環境方針

流山市が掲げる「環境方針」を念頭におき、地球温暖化防止や循環型社会の構築に配慮するとともに、将来にわたり好ましい環境が引き継げるよう、事務局職員をはじめ各農業委員は環境に配慮した取り組みを今後も行っていきます。

1. 現地調査等のため、公用車を使用する場合、走行距離・時間短縮を念頭に置き、使用するとともに、農業委員との合同調査等においては、ワゴン車等で極力1台での使用に努め、省エネルギーの推進と排出ガスの削減を図ります。
また、停車時はアイドリングストップの徹底を図ります。
2. エコオフィス（紙・ごみ・電気）への取り組み、グリーン購入の推進に努めます。
3. クールビズ等の徹底を図ります。

各課の環境目標・活動計画

流山市では、平成23年度から各課において環境への取組目標を設定し、全ての職員（臨時・嘱託職員を含む）が課の環境目標を記載した「環境カード」を携帯しています。これは、「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」と「環境マネジメントシステム」を職員一人一人が自覚し、日頃からの意識向上を目的に行っているものです。

課名	環境目標・活動計画
農業委員会事務局	・ 公用車の排出ガス及び電気使用量の削減 ・ コピー及びプリンター使用量の削減

環境への取組の評価（平成28年度末に記入）

・ 農地法による許認可等のため、農業委員と事務局職員により5人以上で現地調査を行う場合、公用車の使用削減を図るためワゴン車を使用し、また、その他、随時発生する農業委員による現地調査も極力同時に調査を行い、排出ガスの削減に努めました。

さらに、停車時には不要なアイドリングストップの徹底を図りました。

・ 事務室内では、昼休みの消灯や離席時のパソコン電源オフを徹底し、節電に努

めました。

- ・消耗品を購入する場合、グリーン購入法適合商品の優先に努めました。
- ・許認可等は、議案審査会、小委員会を経て総会において決定するが、資料の作成にあたっては、コピー使用量削減に努めました。
- ・節電やクールビズ・ウォームビズなどの取り組みにあたっては、事務局職員とともに本市農業委員の理解と積極的な協力により、農業委員会が一体となり環境に配慮した取り組みを行うことができました。